

1章 回答者のプロフィール

1. 回答者の年代と性別

◇回答者の年代は、20代～40代前半が減少し、50代以上の比率が徐々に増加。特に60歳以上の増加が著しく、高年齢化が加速傾向にある。

20代～40代前半 43.5% ('99 50.8%)

50代以上 41.5% ('99 34.0%)

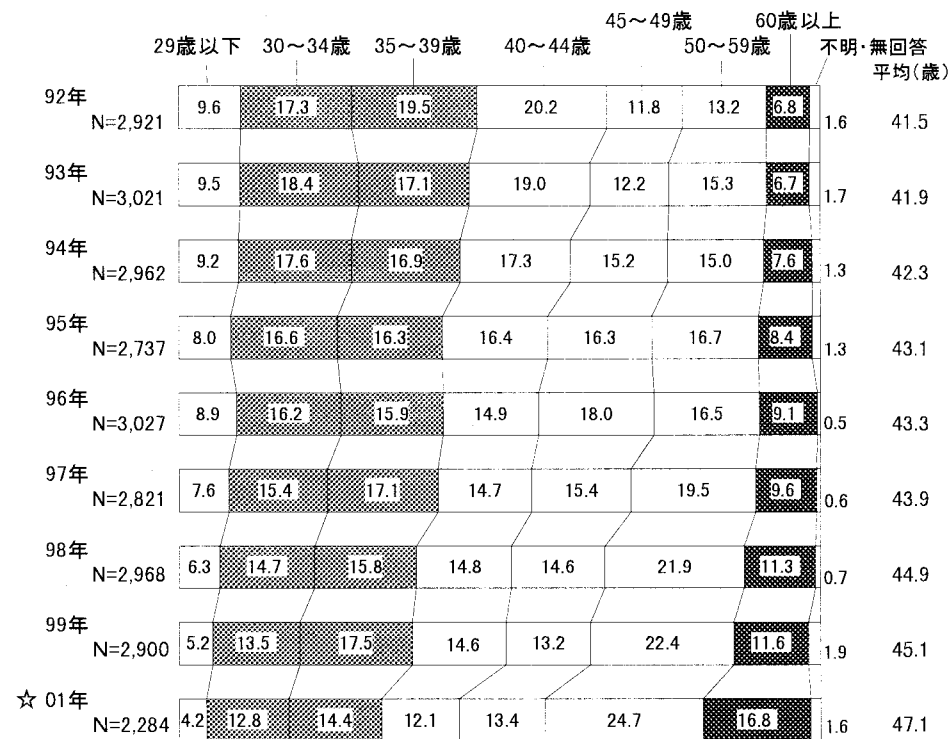
◇年代は、30～40代が52.7%、50歳以上が41.5%を占め、平均47.1歳と2年で2歳上昇した。('99 45.1歳)

◇回答者は、買い物と家計を担当している人に指定して調査を依頼した。

◇性別は女性が97.2%と大部分を占める。

◇世帯主との関係では、「世帯主の配偶者」が88.5%と圧倒的多数。世帯主本人は8.0%。僅かながら世帯主が増加傾向にある。('99 6.9%)

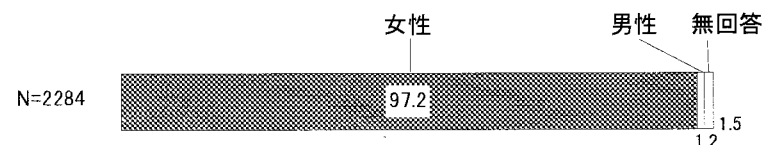
(1)回答者の年代



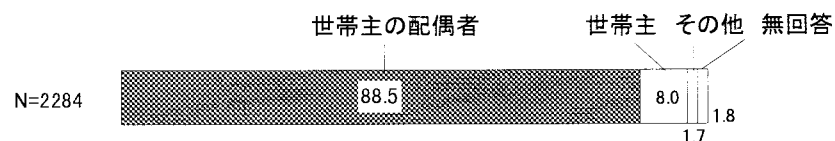
(単位: %)

	回答人数	39歳以下	40～54歳	55歳以上	平均(歳)
82年	N=2,281	59.8	29.0	7.5	38.7
92年	N=2,921	46.4	40.9	11.2	41.5
01年	N=2,284	31.4	39.6	27.4	47.1

(2)回答者の性別



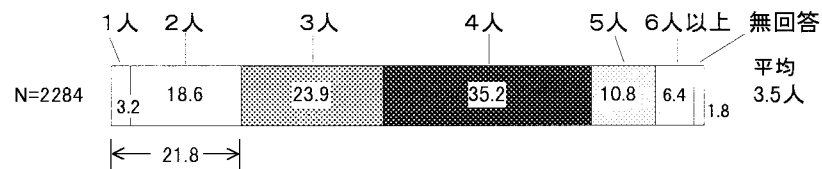
(3)回答者



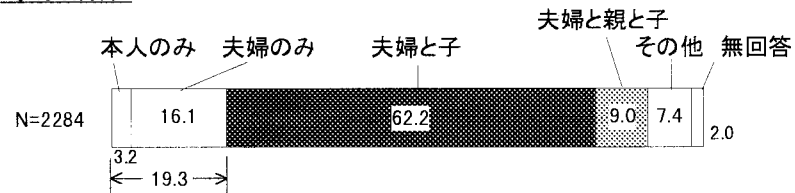
2. 世帯の状況

◇家族人数は3～4人が約6割、家族構成は夫婦と子どもの核家族が62.2%と依然多数派（'99 65.3%）。末子学齢からみても家族構成は多様で、小学生以下の子どもがいる世帯は4割弱で、大学生・社会人、いないが各々2割強ずつである。

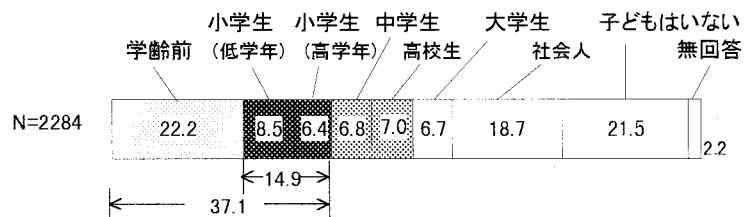
(1) 家族人数



(2) 家族構成



(3) 末子学齢

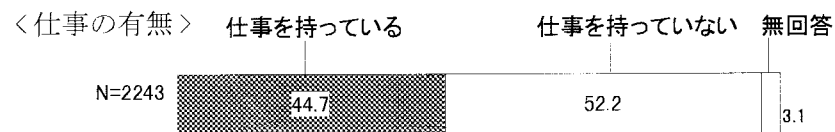


3. 職業・家計の状況

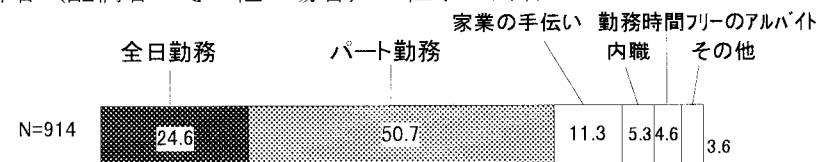
◇回答者の有職率は 44.7%（'99 48.1%）と半数を割っており、有職者の内訳はパート勤務が50.7%、全日勤務も24.6%を占めている。

◇世帯主はこれまでと同様ホワイトカラー層が多数派とはいえ、上級職は減少。専門技術職14.6%、管理職11.7%、役員・自由業が6.6%。無職は14.4%、約7分の1と目立つ。働いている人数が1人の世帯は37.4%と半分以下で、2人が36.4%、3人以上が14.4%と、働いている人が複数いる家庭が半数を越えている。

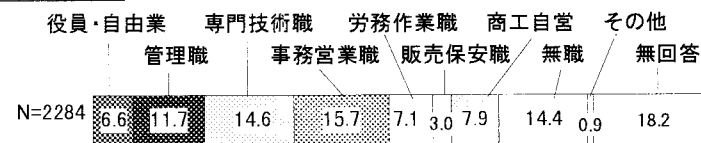
(1) 回答者の職業



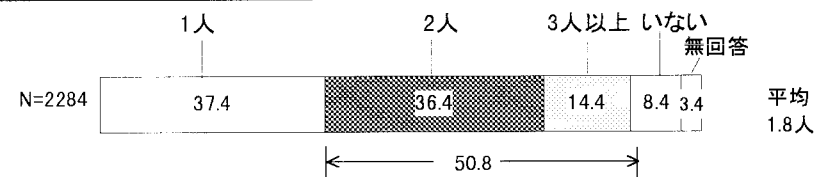
◇回答者（配偶者・その他の場合）の仕事の内容



(2) 世帯主の職業

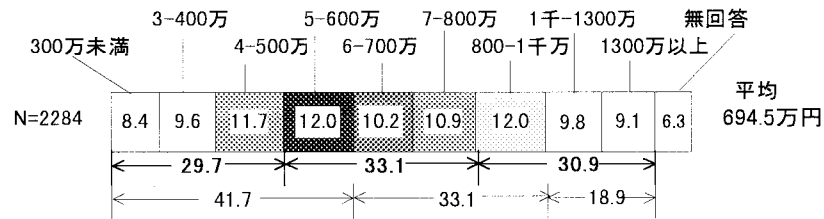


(3) 家族の中で働いている人数



◇世帯年収は 500 万円未満 :500～800 万円 :800 万円以上がほぼ3分される。一カ月の家計費は15～20万円を中心に上下に分散、食費は5～10万円を中心に上下に分散する。

(4) 世帯年収

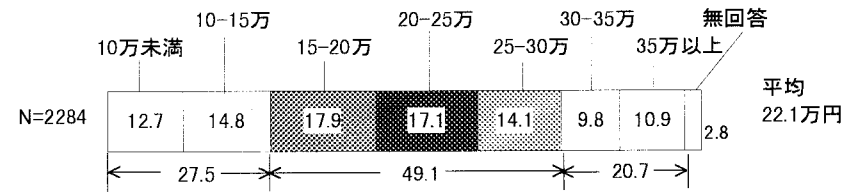


[参考] 全国平均との比較

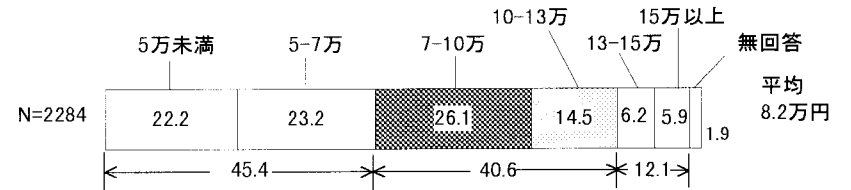
	600万円未満	600-1000万円	1000万円以上
今回調査結果 N=2284	44.5%	35.4%	20.1%
全国平均 N=7803	49.5%	32.7%	17.8%
99年度調査結果 N=2900	37.5%	37.8%	24.7%

(全国平均:平成12年度家計調査年報)
調査結果の数値は、無回答を除いて割り戻した値となっている。

(5) 一ヶ月の家計費



(6) 一ヶ月の食費



(7) 一ヶ月の医療費

